

Ⅲ 選択的評価事項の自己評価等

選択的評価事項 A 研究活動の状況

評価の視点	
A-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。	
観点 A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	
関係法令	(設) 第 2 条第 2 項
【留意点】	
○ なし。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ☒ 満たしていると判断する ☐ 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。 ☒ 定めている ☐ 定めていない	◇定めていることがわかる資料 ・資料 A-1-①-(1)-1(p1) 研究活動の目的・方針・目標がわかる資料
観点 A-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	
【留意点】	
○ 観点 A-1-①の研究活動に関する目的、基本方針、目標等を達成するための、実施体制、設備等を含む研究体制及び支援体制の整備状況・活動状況について分析すること。	
○ 実施体制の整備については、研究に携わる教員等の配置状況、センター等設置状況を示すこと。	
○ 研究活動状況については、共同研究等、他研究機関や地域社会との連携体制及びその機能状況等の具体例を示すこと。	
関係法令	(設) 第 2 条
観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ☒ 満たしていると判断する ☐ 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制を整備しているか。 ☒ 整備している ☐ 整備していない	◇目的等ごとに、実施体制が整備されていることがわかる資料 ・資料 A-1-②-(1)-1(p2) 研究活動の実施体制がわかる資料
(2) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための設備等を含む研究体制を整備しているか。 ☒ 整備している ☐ 整備していない	◇目的等ごとに、研究体制が整備されていることがわかる資料 ※ 研究体制は実施体制と支援体制とに分類されている。 本校の研究設備については、主な試験・分析機器として公表し、学内外の利用に供されている。 ・資料 A-1-②-(2)-1(p3) 研究体制が整備されていることがわかる資料-1 ・資料 A-1-②-(2)-2(p4) 研究体制が整備されていることがわかる資料-2

(3) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制を整備しているか。 ■整備している □整備していない	◇目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料 ※ (支援体制は目的ごとの区分を行っていない) 研究支援体制は地域テクノセンター、総合情報センター、地域文化センター、ものづくりセンターの4センターから構成されており(資料 A-1-②-(3)-1(p5))、各センターの担当業務は資料 A-1-②-(3)-2(p6)に示されている。成果の知財化に対しては予算補助の制度を設け積極的に推進している(資料 A-1-②-(3)-3(p10))。 ・資料 A-1-②-(3)-1(p5) 研究支援体制が整備されていることがわかる資料-1 ・資料 A-1-②-(3)-2(p6) 研究支援体制が整備されていることがわかる資料-2 URL: http://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoolguide/upload/docs/college-bulletin2017.pdf 八戸工業高等専門学校学校要覧-p.36, 38-40(総合情報センター、地域テクノセンター、地域文化研究センター、ものづくりセンター) ・資料 A-1-②-(3)-3(p10) 研究支援体制が整備されていることがわかる資料-3
(4) (1)～(3)の体制の下、研究活動が十分に行われているか。 ■行われている □行われていない	◇研究活動の実施状況がわかる資料 ※ 実施状況がわかる資料として、大学改革推進等補助金(資料 A-1-②-(4)-1(p12))、産学官金連携協定(資料 A-1-②-(4)-2(p13))、科研費採択状況、助成金採択課題、受託事業・受託研究・共同研究受入れ状況、補助金・助成金(資料 A-1-②-(4)-3(p14))、を示す。 ・資料 A-1-②-(4)-1(p12) 研究活動の実施状況がわかる資料-1 ・資料 A-1-②-(4)-2(p13) 研究活動の実施状況がわかる資料-2 ・資料 A-1-②-(4)-3(p14) 研究活動の実施状況がわかる資料-3 URL: http://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoolguide/upload/docs/college-bulletin2017.pdf 八戸工業高等専門学校学校要覧-p.45(教員等の研究活動)
観点A-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	
【留意点】 ○ 研究活動の目的等に照らして、どの程度活動の成果があげられているか、目的の達成度について実績等を示すデータ等を提示すること。 ○ 目的が複数ある場合は、それぞれの目的ごとに、目的に照らした研究の成果及び目的の達成度について資料を提示すること。	
観点の自己点検・評価結果欄(該当する口欄をチェック■)	

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ☒ 満たしていると判断する ☐ 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 学校が設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られているか。 ☒ 得られている ☐ 得られていない	◇目的等ごとに、活動の成果がわかる資料 ※ 目的１： 本科卒業研究、専攻科特別研究において、地域課題解決方研究を推奨・推進している（資料 A-1-③-(1)-1(p15)）。また、本科１年より自主探究授業として自主研究を行っており、そこでも地域課題に関するテーマを推奨している（資料 A-1-③-(1)-2(p16)）。 ・資料 A-1-③-(1)-1(p15) 研究活動の成果がわかる資料-1 ・資料 A-1-③-(1)-2(p16) 研究活動の成果がわかる資料-2 ※ 目的２： 最先端研究の成果として研究成果一覧（資料 A-1-③-(1)-3(p17)）、特別研究テーマ一覧（資料 A-1-③-(1)-4(p18)）、卒業研究テーマ一覧（資料 A-1-③-(1)-5(p19)）、知的財産管理状況（資料 A-1-③-(1)-6(p20)）を示す。 ・資料 A-1-③-(1)-3(p17) 研究活動の成果がわかる資料-3 ・資料 A-1-③-(1)-4(p18) 研究活動の成果がわかる資料-4 ・資料 A-1-③-(1)-5(p19) 研究活動の成果がわかる資料-5 ・資料 A-1-③-(1)-6(p20) 研究活動の成果がわかる資料-6
観点 A-1-④ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	
【留意点】 ○ 組織の役割、人的規模・バランス、組織間の連携・意思決定プロセス・責任の明確化等がわかる資料を提示すること。 ○ 具体的な改善事例については、活動状況とともに効果や成果について示すこと。 ○ 研究活動等の実施状況や問題点を把握しているものの、現状では改善を要する状況にない場合には、問題が生じた際に対応できる体制の整備状況について資料を提示すること。	
観点の自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	
以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。 ☒ 満たしていると判断する ☐ 満たしていると判断しない	
自己点検・評価結果欄（該当する□欄をチェック■）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄
(1) 観点 A-1-③で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。 ☒ 整備している ☐ 整備していない	◇改善の体制がわかる資料 ・資料 A-1-④-(1)-1(p23) 研究活動に対する改善の体制がわかる資料 ◆学校が設定した研究活動の目的等の項目に対応させた具体的な改善事例があれば、具体的な内容について、資料を基に記述する。 ※ 目的１ 地域課題解決に向けたテーマを推奨・推進した結果、地域志向を明示したテーマの卒業研究・特別研究の割合が増加した（資料 A-1-④-(1)-2(p24)）。また、地域課題の掘り起こしを目指した取組みとして、ポスターを作成し地

	域企業等に配布した（資料 A-1-④-(1)-3(p25)）。 ・資料 A-1-④-(1)-2(p24) 具体的な改善事例がわかる資料-1 ・資料 A-1-④-(1)-3(p25) 具体的な改善事例がわかる資料-2 ※ 目的2 校長による科研費申請演習の実施（資料 A-1-④-(1)-4(p26)）により、科研費の申請件数がH25 年度からH30 年度にかけて 37 件から 46 件に増加した（資料 A-1-④-(1)-5(p27)）。 ・資料 A-1-④-(1)-4(p26)具体的な改善事例がわかる資料-3 ・資料 A-1-④-(1)-5(p27)具体的な改善事例がわかる資料-4
A-1 特記事項 この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。	

選択的評価事項A 目的の達成状況の判断

- ☐ 目的の達成状況が非常に優れている
☒ 目的の達成状況が良好である
☐ 目的の達成状況がおおむね良好である
☐ 目的の達成状況が不十分である

選択的評価事項A

優れた点

1 年次より 5 年次まで本科全学年において自主探究活動を導入し、学生主体の研究活動を通して、研究に対する姿勢を学ばせるという新しい試みを行っている。この活動を通して、学生のテーマ探索・計画・遂行に関する能力向上を図っている。

改善を要する点